

# 青木村消防団広報

## KODAMA

発行所 / 青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111  
発行責任者 / 佐藤 公孝

No. 12

発行：平成23年9月1日



## 地域と共に



団長 佐藤 公孝

村民の皆様には、日頃より消防団活動に対する、深い御理解と御協力頂きまして、厚くお礼申し上げます。又、団員の御家族には、陰で支え、御支援頂きます事、誠に有り難うございます。

三月には、未曾有の大災害が我が国を襲い、二万人を超える犠牲者を出す事となりました。我々と志を共にする消防団員も、地域安全の為、津波警報発令下の水門閉鎖、住民の避難誘導等に全力を尽くし、二百名を超える殉職者となりました。被災された皆様に対しまして、慎んで哀悼の意を表すると共に心より一刻も早い復興をお祈りいたします。

今回の経験を教訓として団員自身の安全を確保しながら

ら、自分達の地域を全力で守る事を責務と日々活動して参ります。又、お年寄りの世帯に対する心のこもった防災活動、子供達との親睦を深め、地域に根ざした愛され頼られる消防団作り、団員減少という大きな問題を抱えておりますが、先人が築き上げた青木村消防団、決して衰退させる事無く、21世紀に耐えうる消防団として、前進して参りたいと思っております。

村の若者の大半が集う消防団、先頭に立って、消防団として、そして村の活性化に向けて、様々な取り組みを行って行きますので、引き続きの御理解、御協力よろしくお願致します。



# 村・上小大会を終えて

## 第二分団

ポンプ班長 丸山 博司

今年度、第二分団は少人数の中、分団長始め団員一人一人が自分の役割をしっかりとこなしてくれとても良くまとまったと思います。中でも若い選手たちがとても良くやりました。きびしい練習でしたが振り返ってみるととても楽しかった三ヶ月間でした。温かい支援と御協力をいただきました皆様から感謝します。今後は地域のために貢献できればと思います。



第二分団



第一分団 村松部

## 第一分団 村松部

機械班長 宮入 洋

この度、機械班長を任せられることになり、大きな責任感と不安でいっぱいでした。また、先輩方の築いてこられた伝統を崩さず、ポンプ操法では村松として高い技術を班員と共に収めることは機械班長としての責務と理解しておりました。今日まで無我夢中で励んできた結果、選手全員が持てる力を全て発揮出来たと感じております。ご指導ご声援頂いた青木村消防団並びに村民の皆様へ御礼申し上げます。今後は地域の為に貢献して参ります。

## 第四分団 青木部

ポンプ班長 林 和彦

今年度第四分団では、自動車ポンプ・小型ポンプを各チーム編成し、大会に向けて合同で訓練に取り組みました。昨年までの部毎の訓練とは違い大変な部分もありましたが、訓練を通じてより分団としての結束が強まったと思います。

又、自身としては指揮者として二年目となりましたが、分団の仲間、地域の方々の応援を頂き、最後まで務める事が出来ました。改めて感謝致します。今後も、分団としてより結束し、地域防災に貢献していきたいと思っております。



第四分団 青木部



ラッパ吹奏（上小大会）

## 第三分団 入奈良本部

ラッパ指揮者 奈良本任司

今年度ラッパ団体の部指揮者を務める事になり自分にラッパ14人鼓隊3人計17人という大人数をまとめられるのか非常に不安でした。しかし練習が始まるとその不安はすぐに無くなりました。ラッパ班全員が良くまとまり私をサポートしてくれ最後まで気持ち良く指揮をふる事ができました。入賞は逃しましたが皆一丸となり悔いの無い結果だったかと思えます。これまでご指導ご声援頂いた青木村消防団並びに村民の皆様、そしてラッパ班の皆様本当にありがとうございました。



ラッパ吹奏（村大会）



村大会優勝の第二分団

# 大会の結果について

## ■村大会の結果

六月二十六日（日）総合グラウンドで、村のポンプ操法、ラッパ吹奏大会が開催されました。結果は次のとおりです。

### 〔小型ポンプ操法〕

- 優勝 第二分団
- 準優勝 第一分団村松部
- 第3位 第一分団当郷部
- 努力賞（第4位）第4分団
- 第5位 第3分団B
- 第6位 第3分団A

### 〔ラッパ団体の部〕

- 優勝 第4分団
- 準優勝 第3分団
- 第3位 第1分団B
- 努力賞（第4位）第1分団A
- 第5位 第1分団C
- 第6位 第2分団

### 〔ラッパ個人の部〕

- 優勝 第1分団村松部
- 片田 俊



### 準優勝

第4分団夫神部

### 第3位

清水 洋武

### 努力賞

第3分団入奈良本部

### 第2分団

入田沢部

### 上原

万茂

## ■上小大会の結果

七月十日（日）、村運動公園総合グラウンドにおいて、消防操法大会上小地区大会が、青木小学校グラウンドにおいてラッパ吹奏大会が開催され、青木村からは、ポンプ車操法の部に第4分団、小型ポンプ操法の部に第2分団と第1分団村松部、ラッパ吹奏団体の部と個人の部にはラッパ班代表者が出場しました。成績は次のとおりです。

### 〔ポンプ車操法の部〕

第4分団 7位

### 〔小型ポンプ操法の部〕

第1分団村松部 9位

第2分団 14位

### 〔ラッパ吹奏団体の部〕

青木村消防団 6位

### 〔ラッパ吹奏個人の部〕

片田 俊 12位

清水 洋武 16位

# ポンプ操法の意義と目的

消防操法は消防団の訓練の一つであり、基本的な操作の習得を目指すための手順であり、小型可搬ポンプ操法と、ポンプ車操法があります。本村においては小型が各分団、ポンプ車が第四分団において実施されています。設置された防火水槽から、給水し、火災現場を意識した火点（かてん）と呼ばれる的にめがけて放水し、撤収するまでの一連の手順を演じます。大会では、ポンプ・ホースなどの操作を速く正確に行うとともに、動きの綺麗さを競います。採点は各個動作の正確さ及び火点的的が倒れるまでのタイムなどが減点法で採点され、減点が少ないチームほど上位となります。

操法の意義は、基本的な操作の習得を目指すことを目的としており、規律ある動作及び的確な命令・行為の伝達・騒音、火災で混乱しがちな現場において正確な操作と、命令系統を遵守した行動を行うことなどとなっています。また、速さと正確さを競うほか、規律と呼ばれる動きや、2名以上の動きをそろえて見せるなど動きの綺麗さが要求されます。訓練には大変無理な動きも多く、期間も長期に及び早朝から行われたりするため、過程で怪我をする消防団員も多いということもありますので、体調管理などには充分気を付けなければなりません。

本村においても毎年、技術の向上を目指して各分団において早朝より厳しい訓練が行われ大会に臨んでおります。皆様の御協力、御声援をお願い致します。



# 新入団員から一言

## 第二分団 入田沢部

花城 風也

今年度より入田沢部に入団させて頂く事になりました。私は仕事の都合上生活が不規則なためあまり活動に参加できないであろうと考えておりました。しかし昨年諸先輩方よりお誘いを受けた時、「少しでも地域に貢献できるのであれば、今の状況のできる限りの事をしてみよう」と思い入団を決意した次第です。未だ活動への参加はわずかではありますが、ご指導を受けながら頑張っていきたいと思っています。



## 第三分団 下奈良本部

田村 祐輔

今年度より消防団に参加させて頂いています。入団前は消防団活動のほとんどが火災時の消火活動であると思っていました。しかし実際に入団してみると、豪雨の際の水害対策や地域行事での警備など様々な活動があることを知り、地域住民を災害から守るだけでなく、地域活動を支える大変重要な仕事であると感じました。



まだ微力ではありますが、消防団活動を通じて少しでも村民の皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。

## 第四分団 夫神部

林 和明

今年度より青木村消防団の一員として活動しています。私は就職を機に村外に転出してしまった為、なかなか自分のふるさとに関わる機会が少なくなってしまったのですが、やはり自分のふるさとに何か貢献できないかと思い、微力ではありますが消防団という形で青木村に恩返ししたいです。まだまだできる事も少なく足を引つ張っているのですが先輩方についてお役に立てるよう一生懸命活動したいと思っています。



未来を守るのはあなたです！  
**～消防団員募集～**  
 ※女性団員も、募集しています。



お問い合わせ先  
 青木村役場 総務課 総務企画係  
 電話・情報電話番号  
 49-0111

### 広報こだま編集委員

警備長 若林 広明  
 第二分団 山本 勝  
 第四分団 西戸 隆司

第一分団 查掛 智明  
 第三分団 查掛 啓二  
 本部班長 増田 憲寛